

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所

## 第2回定時総会 資料

率先垂範

つなぐ心  
ひとつに



Junior Chamber International Japan  
一般社団法人 牛久青年会議所

## The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;  
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;  
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;  
That government should be of laws rather than of men;  
That earth's great treasure lies in human personality; and  
That service to humanity is the best work of life.

### 和訳

我々はかく信じる 真理は人生に意義と目的を与え  
人類の同胞愛は国家による統治を超越し  
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ  
政府には人治ではなく法治が必要であり  
人間の個性はこの世の至宝であり 人類への奉仕が人生最大の使命である

## JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to  
create positive change.

### 和訳

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために  
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

## JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

### 和訳

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる

## J C 宣言

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

## 綱領

われわれ J A Y C E E は  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

## 関東地区宣言

わたしたちは  
日本の礎として  
あらゆる未来をみつめ  
多様性溢れる仲間と共鳴し  
新たな価値の創造により  
新時代の旗手となることを誓う

## いばらき J A Y C E E 宣言

いばらきの青年会議所は  
多様な新世代(みらい)を見据え  
信頼し合う仲間と共に成長し  
1人ひとりが 革新の核となり  
「持続可能ないばらき」に挑戦する

## 目 次

2024年度 第2回定時総会次第	1
------------------	---

第1号議案 2024年度 事業中間報告並びに補正予算（案）の件	2
---------------------------------	---

(1) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告

(2) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告

(3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算

第2号議案 定款改正（案）の件	11
-----------------	----

第3号議案 2025年度 監事選任（案）の件	14
------------------------	----

第4号議案 2025年度 理事選任（案）の件	16
------------------------	----

第5号議案 2025年度 組織図（案）の件	18
-----------------------	----

第6号議案 その他	20
-----------	----

### 報告事項

(1) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者中間報告	21
-----------------------------------	----

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所

第2回 定時総会次第

2024年9月26日

理事長 美澤 貴人  
主管 総務広報委員会  
場所 ベル・ザ・クラス

1. 開会宣言
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション唱和並びにJCIビジョン唱和
6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
7. 関東地区宣言唱和
8. いばらきJAYCEE宣言唱和
9. 来賓及び来訪JC紹介
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 報告確認依頼事項
13. 議事
  1. 議長選出
  2. 定足数並びに資料の確認
  3. 議事録作成人並びに署名人の指名
  4. 審議事項
    - 第1号議案 2024年度 事業中間報告並びに補正予算（案）の件
    - 第2号議案 定款改正（案）の件
    - 第3号議案 2025年度 監事選任（案）の件
    - 第4号議案 2025年度 理事選任（案）の件
    - 第5号議案 2025年度 組織図（案）の件
    - 第6号議案 その他
14. 牛久青年会議所シニアクラブ世話人代表挨拶
15. 祝電披露
16. 新入会員認証書伝達式
17. 監事講評
18. 閉会宣言

専務理事 吉田 貴一  
理事長 美澤 貴人  
直前理事長 篠木 達也

監事 石井 葵  
監事 大澤 泰弘

## 議案提案書

議案名 2024年度 事業中間報告並びに補正予算（案）

(1) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告

(2) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告

(3) 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算

## 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 理事長中間報告

第39代 理事長 美澤 貴人

2024年度、一般社団法人 牛久青年会議所は、「率先垂範～つなぐ心ひとつに～」をスローガンに掲げ、入会が浅いメンバーが多いこの時代こそ、メンバー一人ひとりがリーダーの意識を持ち、何事もやってみることを念頭におき、活動をスタートいたしました。

1月には、総務広報委員会に主管していただき、第1回定時総会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響も全くというほどなくなり、本来と同じ形での開催をすることができました。LOMの最高決議機関である総会を総務広報委員会のメンバーが一丸となり、牛久青年会議所らしい厳粛な雰囲気の中執り行うことができました。そして、早い段階からの動員や、各委員長との連携を図り、100%例会を達成することができ、最高な幕開けとなりました。引き続き、青年会議所の魅力の迅速的な発信、組織運営をよろしく願いいたします。

2月には、小山議長をはじめとする未来拡大会議に主管していただき、情熱の伝道師こと上田博和先輩を講師としてお招きし、リーダー育成の大切さや、組織全体での会員拡大活動について学びを得る事ができました。そして多くのオブザーブの方にもご参加いただき、新しい仲間との出会いにより、入会に繋げることができました。2025年度の40周年という節目を前に、小山議長を始めとする未来拡大会議の思いをメンバーで共感し、40周年にむけて、LOM一丸となって会員拡大運動に取り組み、活気ある組織にしていきたいと思います。

3月には、黒崎委員長をはじめとする40周年準備委員会に主管していただき、周年を経験された先輩諸兄姉をお招きし、今まで一般社団法人 牛久青年会議所が歩み続けてきた過去の事業について、多くの学びを得る事ができました。また、例会を通して、入会が浅いメンバーが多く在籍している中、先輩諸兄姉との関係を強化することができました。先輩諸兄姉が築き上げてきた伝統をしっかりと理解したうえで、LOMの更なる成長に繋げてまいりましょう。

4月には、大西局長をはじめとする事務局・財政局に主管していただき、LOMの様々なルールについて学びました。昨今では、コンプライアンスの徹底が叫ばれており、青年会議所の厳格なルールを遵守し、適正に運営することが当然のように求められております。現在、入会年数が浅いメンバーが数多く在籍している中で、JCの意義を再確認し、コンプライアンス意識を強く持つ必要性を改めて感じる事ができました。

5月には久原委員長をはじめとする次世代育成委員会に主管していただき、二所ノ関部屋の二所ノ関親方とお弟子さんをお招きし、相撲を通して多くの子どもたちに喜びや達成感、悔しさを体験する

機会を提供させていただきました。力士とのふれあいを親子共々楽しんでいただき、思い出に残る例会となりました。これからも地域全体で子どもたちを育てられる環境を醸成してまいりましょう。

6月には小山議長をはじめとする未来拡大会議に主管していただき、オブザーブの方に青年会議所運動への理解や興味を持っていただくことを目的としてバーベキューを開催いたしました。オブザーブの方との交流を通して、まずはメンバー一人ひとりが青年会議所運動を本気で楽しむ姿を魅せることで、青年会議所運動への理解や興味を持っていただく重要性を再認識することができました。小山議長の想いがメンバーへと伝わり、今年度、2度目の100%例会を達成することができました。この想いを胸に、ひとりでも多くの会員拡大へと繋げてまいりましょう。

結びとなりますが、本年度も残り僅かとなりました。本年度は、率先して挑戦し続ける背中を魅せることが私の責務だと考えこれまで走り続けてきましたが、中間報告を考えるにあたり、簡単に物事が進んでいかない難しさや、人それぞれ考え方が異なることから、苦しさや、大いに悩むこともありました。その度、メンバーと本気で向き合い、時には厳しいことも言ってしまったかもしれません。しかし、それでもメンバーが頑張ってくれている姿に深く心を打たれ、私自身がメンバーから日々成長させていただいている感謝の気持ちを忘れず、今後の青年会議所運動に取り組んでまいります。2025年度の40周年に向けてメンバー一丸となって素晴らしい強固な組織にしていきたいと思います。

## 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 委員会中間報告 委員会中間報告

次世代育成委員会

委員長 久原 康太

次世代育成委員会では、5月例会を主管し、また、10月例会を主管させていただきます。

5月例会では、「はっけよい牛久場所～ここが君たちの前相撲～」と題し、二所ノ関部屋の二所ノ関親方及びお弟子さんに協力いただき、子ども達に対して、相撲を通して学校とは違った環境で心身の鍛錬と礼節、喜びや達成感、悔しさを学ぶきっかけを作る事業を行いました。

参加者の動員に苦戦しながらも現役、シニアの先輩方の協力の下、無事満員で開催することができました。参加した子ども達から「楽しかった」「負けて悔しかった」「勝って嬉しかった」との感想をいただき子ども達の成長の機会を提供でき、事業の目的の達成にも繋がりました。また、親御さんからも「子どもの成長を感じられた」「真剣に取り組む姿を見ることができて良かった」という感想をいただき子ども達だけでなく保護者の方からも嬉しいお言葉をいただきました。

10月例会につきましては現在事業内容構築中のため5月例会での経験を活かし、子どもたちの健やかな成長に資するよう取り組んでまいります。

## 委員会中間報告

総務広報委員会

副委員長 椎名 理恵

総務広報委員会では1月に第1回定時総会を主管させていただきました。メンバー皆様の協力もあり滞りなく、厳粛な雰囲気の中、予定しておりました全議案が可決承認されました。

また、総務広報委員会では、理事会の設営、例会でのセレモニー運営、会員名簿の作成、各スケジュールの調整管理、情報の記録、備品の管理、SNSやホームページの更新等、事前準備を心掛け、各委員会と連携を図り、組織が円滑に運営できるように努めて参りました。

2025年度には40周年を迎える記念すべき年に向け、より多くの地域の皆様に青年会議所の活動を知っていただくために、SNSやホームページを活用し時代に即した発想で受け手側が活動を理解し、共感できるような広報活動を努めていきます。

結びに、総務広報委員会一丸となり組織の運営に関わる立場として、自分の役割はもちろんその重要性をしっかりと理解し、残りの3カ月邁進してまいります。



## 委員会中間報告

40周年準備委員会

委員長 黒崎 雄太

40周年準備委員会では、3月例会を主管させていただきました。

3月例会では、仲間との絆～過去を知り新時代に繋げよう～と題し、第1部では10周年、20周年、30周年を経験された理事長、専務理事、実行委員長の方に、事前に当時の想いについてのヒアリングをさせていただき、委員会でまとめ発表をさせていただきました。第2部では、第10第実行委員長海老原賢先輩、第20代実行委員長山賀宏之先輩、第30代理事長飯島和真先輩、牛久青年会議所シニアクラブ役員を交えてのグループワークをさせていただき、先輩方から貴重なお話をたくさんしていただきました。第3部では、グループワークで話し合った内容を発表し、共有することで、メンバー間の意識統一に繋がり、先輩諸兄姉と現役メンバーが40周年に向けての弾みをつけていただく内容になりました。

8月例会では、地域資源を活用し、地域市民に一般社団法人 牛久青年会議所の運動を発信し40周年に向けて勢いをつける例会を構築してまいります。今後の事業につきましてもメンバー一丸となり活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 会議体中間報告

未来拡大会議

議長 小山 大輔

未来拡大委員会では2月例会と6月例会を担当させていただきました。

2月例会では青年会議所内で情熱の伝道師の異名をもつ、上田博和先輩をお招きさせていただき、メンバー一人ひとりがリーダーシップを発揮し積極的に会員拡大に取り組めるようにリーダーシップや人間力の向上に繋がる講演事業を開催させていただきました。

6月例会では、青年会議所の魅力を発信するうえでまずはメンバー間の絆ややりがい、楽しさを再認識し、多くの方に魅力を発信し会員拡大に繋げることを目的とした事業を開催させていただきました。

本年度、未来拡大会議としては担当の2例会は終わりましたが、最も重要である会員拡大という担いがあります。新規会員数目標10名に対して、今現在2名という状況です。

残り半年となりますが、未来拡大会議のメンバーと一致団結し、なんとしても目標を達成するために会員拡大に全力を注いでいく所存でございます。今後とも皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 事務局・財政局中間報告

事務局・財政局

局長 大西 敦

事務局・財政局では、普段行っている事務局・財政局としての活動に加え、4月例会を主管させていただきました。

4月例会では、コンプライアンスをテーマに、定款・規程について、検証する例会を開催いたしました。このような内容を例会にすることは初めてだったと思いますが、メンバーの知識の習得や、規範遵守意識向上のために有益な例会を開催することができたかと思えます。定款・規程については、これまでの一般社団法人牛久青年会議所の良さを活かしつつ、実際の運動・活動にあった内容や表現の整備を進めてまいりたいと思えます。

本年度の事務局・財政局は、吉田専務理事の監督のもと、佐藤次長、遠藤局員という体制でバランスよく運営ができています。メンバーの助けを借りながら、スムーズな運営に協力していただくことができ、心より御礼申し上げます。

結びに、今年度の後半もスムーズな事務局・財政局の運営を心掛けるとともに、12月例会を思い出に残る例会にできるよう尽力してまいりたいと思えます。

## 2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 補正予算 (案)

作成者 事務局・財政局長 大西 敦  
適用期間 2024年8月22日から2024年12月31日  
(単位: 円)

【第1部: 本会計】	科目	2024年度予算	2024年度補正予算(案)	増減	摘要
I	事業活動収支の部				
1.	事業活動収入				
①	入会金収入				
	正会員入会金収入	200,000	200,000	0	入会予定者10名×20,000円
	特別会員入会金収入	40,000	40,000	0	特別会員予定者1名(根本翔平)×40,000円
	入会金収入計	240,000	240,000	0	
②	会費収入				
	正会員年会費収入	2,286,000	2,181,000	△ 105,000	34名(正会員24名+入会予定者10名)
	特別会員年会費収入	0	0	0	
	会費収入計	2,286,000	2,181,000	△ 105,000	
③	事業収入				
	委員会事業会計収入				
	登録料収入	0	140,000	140,000	5月例会75,000円、6月例会65,000円
	広告料収入	0	0	0	
	販売収入	0	300,000	300,000	8月例会スカイランタン
	雑収入	0	730,000	730,000	8月例会協賛金
④	雑収入				
	受取利息収入	0	0	0	
	その他雑収入	200,000	300,000	100,000	シニアクラブからの支援金20万円、一般社団法人竜ヶ崎青年会議所からの支援金10万円
⑤	他会計からの繰入金収入				
	特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
	事業活動収入計	2,726,000	3,891,000	1,165,000	
2.	事業活動支出				
①	事業費支出				
	事業費支出				
	未来拡大会議(2024)	96,000	156,548	60,548	2月例会、6月例会
	次世代育成委員会(2024)	224,000	299,000	75,000	5月例会、10月例会
	総務広報委員会(2024)	75,000	75,000	0	1月例会、9月例会
	40周年準備委員会(2024)	170,000	1,148,048	978,048	3月例会、8月例会
	卒業生(2024)	47,000	70,000	23,000	11月例会
	事務局・財政局(2024)	47,000	108,000	61,000	4月例会、12月例会
	アカデミーメンバー(2024)	21,000	20,155	△ 845	7月例会
	事業予備費支出				
	事業費支出計	680,000	1,876,751	1,196,751	
②	管理費支出				
	通信運搬費支出				
	電話代支出	80,000	85,000	5,000	NTT(2023.12~2024.11)電報代省く、プロバイダ(OCN)
	運搬代支出	18,000	13,000	△ 5,000	切手代他
	消耗品支出	178,260	178,260	0	新入会員バッヂ・プレート代(10名)、卒業生横断幕、卒業生記念品(6名)、ミニゴング
	コピー用紙・インク代支出	3,500	3,500	0	
	印刷製本費支出	198,000	198,000	0	特別会員用の手帳代 148名(特別会員数147名+23年度卒業生1名)×1,000円、手帳デザイン費50,000円
	業務委託支出	36,675	36,675	0	ドメイン料金7,500円(2024.1~12)、役員変更登記料金29,175円
	渉外費・支援金等準備資金	88,736	73,736	△ 15,000	慶弔費40,000円、電報代23,736円(総会・周年)、支援金等準備資金、京都会議並びに全国大会祝儀(土浦:5,000円、竜ヶ崎:5,000円)×1
	雑支出	758	758	0	変更登記時源泉徴収復興特別所得税
	支払手数料支出	5,000	5,000	0	
	水道光熱費支出	45,000	45,000	0	
	地代家賃支出	389,830	388,961	△ 869	1ヵ月31,472円×12ヵ月、イス、テーブル代11,297円
	管理費支出計	1,043,759	1,027,890	△ 15,869	
③	負担金支出				
	日本JC会費(基本額)	30,000	30,000	0	年当初の正会員数が正会員1名から50名までは30,000円、51名からは25名増すごとに15,000円加算
	日本JC会費(付加金)	155,000	150,000	△ 5,000	26名×5,000円+8名×2,500円
	JCI会費	76,024	76,024	0	34名×2,236円
	国際協力資金	62,050	62,050	0	34名×1,825円
	機関誌購読料(We Believe)	86,500	82,750	△ 3,750	34名分
	地区協議会会費	24,000	23,000	△ 1,000	24名×500円+10,000円(基本金)+2名×500円
	ブロック協議会会費	104,000	98,000	△ 6,000	24名×3,000円+20,000円(基本金)+2名×3,000円
	ブロック協議会負担金	72,000	72,000	0	24名×3,000円
	ブロック協議会会議費	0	0	0	
	ブロック大会登録料	0	0	0	
	日本JC負担金	40,000	40,000	0	規則審査会議:2名(篠木・大西)×20,000円
	サマーコンファレンス負担金	0	0	0	
	ブロック周年祝い金	24,000	24,000	0	25名×(1LOM×1,000円)石岡
	LOM周年祝い金	0	0	0	
	京都会議登録料	8,000	8,000	0	
	常磐線東京駅乗り入れ推進協議会 会費	10,000	10,000	0	
	公開討論会実行委員会協賛金	0	0	0	
	牛久市国際交流協会会費	10,000	10,000	0	
	負担金支出計	701,574	685,824	△ 15,750	
④	他会計への繰入金支出				
	40周年記念事業資金への繰入金支出	300,000	300,000	0	【第2部: 40周年記念事業準備資金会計】
	災害義援金への繰り入れ支出	0	0	0	【第3部: 災害義援金支払会計】
	設備・什器資金への繰入金支出	667	535	△ 132	【第4部: 設備・什器会計】
	他会計への繰入金支出計	300,667	300,535	△ 132	
	事業活動支出計	2,726,000	3,891,000	1,165,000	
	事業活動収支差額	0	0	0	
II	投資活動収支の部				
1.	投資活動収入				
	投資活動収入計				
2.	投資活動支出				
	特定資産取得支出				
	周年事業積立資産取得支出				
	投資活動支出計				
	投資活動収支差額				
III	予備費支出				
	当期支出計	2,726,000	3,891,000	1,165,000	
	当期収支差額	0	0	0	
	前期繰越収支差額	2,778,790	2,778,790	0	
	次期繰越収支差額	2,778,790	2,778,790	0	

【第2部：40周年記念事業準備資金会計】 (単位：円)

科目	2024年度予算	2024年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入				
② 特別会計繰入金収入	300,000	300,000	0	LOW周年積立金
繰入金収入計	300,000	300,000	0	
2 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計(A)	300,000	300,000	0	
II 支出の部				
1 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
繰入金支出計(B)	0	0	0	
当期収支差額(A) - (B)	300,000	300,000	0	
前期繰越収支差額	3,105,130	3,105,130	0	
次期繰越収支差額	3,405,130	3,405,130	0	

【第3部：災害義援金支払会計】 (単位：円)

科目	2024年度予算	2024年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入	0	0	0	
② 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	0	0	0	
2 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計(A)	0	0	0	
II 支出の部				
1 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
2 義援金支出	0	0	0	
当期支出計(B)	0	0	0	
当期収支差額(A) - (B)	0	0	0	
前期繰越収支差額	240,353	240,353	0	
次期繰越収支差額	240,353	240,353	0	

【第4部：設備・什器会計】 (単位：円)

科目	2024年度予算	2024年度補正予算(案)	増減	摘要
I 収入の部				
1 繰入金収入				
① 一般会計繰入金収入	667	535	△ 132	
② 特別会計繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入計	667	535	△ 132	
2 資産運用収入				
① 受取利息収入	0	0	0	
② 雑収入	0	0	0	
資産運用収入計	0	0	0	
当期収入計(A)	667	535	△ 132	
II 支出の部				
1 繰入金支出				
① 一般会計繰入金支出	0	0	0	
② 特別会計繰入金支出	0	0	0	
当期支出計(B)	0	0	0	
当期収支差額(A) - (B)	667	535	△ 132	
前期繰越収支差額	33,011	33,678	667	
次期繰越収支差額	33,678	34,213	535	

2024年度 一般社団法人牛久青年会議所 総会計正味財産増減計算書(案)

作成者 事務局・財政局長 大西 敦  
 適用期間 2024年1月1日から2024年12月31日  
 (単位:円)

科目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	2,421,000
正会員会費	2,381,000
入会金	200,000
年会費	2,181,000
特別会員入会金	40,000
特別会員年会費	0
② 雑収入	300,000
受取利息	0
その他雑収入	300,000
③ 他会計からの繰入金	0
特別会計(40周年記念事業準備資金からの繰入金)	0
特別会計(災害義援金からの繰入金)	0
経常収益計	<b>2,721,000</b>
(2) 経常費用	
① 事業費	1,876,751
未来拡大会議(2024)	156,548
次世代育成委員会(2024)	299,000
総務広報委員会(2024)	75,000
40周年準備委員会(2024)	1,148,048
卒業生(2024)	70,000
事務局・財政局(2024)	108,000
アカデミーメンバー(2024)	20,155
② 管理費	1,027,890
通信運搬費	
電話代	85,000
運搬代	13,000
消耗品費	178,260
コピー用紙・インク代	3,500
図書・研修費	0
印刷製本費	198,000
業務委託費	36,675
渉外費	73,736
雑費	758
支払手数料	5,000
水道光熱費	45,000
地代家賃費	388,961
③ 負担金	685,824
日本JC負担金(基本額)	30,000
日本JC負担金(付加金)	150,000
JCI負担金	76,024
国際協力資金	62,050
機関誌購読料(We Believe)	82,750
地区協議会負担金	23,000
ブロック協議会負担金	98,000
ブロック協議会ブロック大会負担金	72,000
ブロック協議会会議負担金	0
日本JC負担金(出向分)	40,000
国際アカデミー負担金	0
ブロック周年祝い負担金	24,000
LOM周年祝い負担金	0
京都会議負担金	8,000
常磐線東京駅乗り入れ推進協議会負担金	10,000
公開討論会実行委員会協賛金	0
牛久市国際交流協会負担金	10,000
④ 他会計への繰入金支出	300,535
40周年記念事業資金への繰入金支出	300,000
設備・什器資金への繰入金支出	535
ブロック大会準備金への繰入金支出	0
経常費用計	<b>3,891,000</b>
当期経常増減額	<b>△ 1,170,000</b>
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,170,000
一般正味財産期首残高	2,778,790
一般正味財産期末残高	1,608,790
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
当期指定正味財産増減額	300,535
指定正味財産期首残高	3,105,665
指定正味財産期末残高	3,406,200
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>5,014,990</b>

## 議案提案書

議案名 定款改正（案）

第1 (除名)

【改正前】

第14条 会員が次の号の一に該当する時は、総会の決議により、これを除名することができる。

- (1) 本会の名誉を毀損し、又は目的遂行に反する行為をしたとき。
- (2) 本会の秩序を乱す行為をしたとき。
- (3) 正当な理由がなく会費納入義務を1年以上履行しないとき。
- (4) 例会及び委員会に対する出席義務を履行しないとき。
- (5) この定款その他の規則に違反したとき。
- (6) その他除名すべき正当な事由があるとき。

2 (略)

3 (略)

【改正後】

第14条 会員が次の号の一に該当する時は、総会の決議により、これを除名することができる。

- (1) 本会の名誉を毀損し、又は目的遂行に反する行為をしたとき。
- (2) 本会の秩序を乱す行為をしたとき。
- (3) この定款その他の規則に違反したとき。
- (4) その他除名すべき正当な事由があるとき。

2 (略)

3 (略)

第2 (会員資格の喪失)

【改正前】

第15条 前2条のほか、会員は、次の号の一に該当する時は、その資格を失う。

- (1) 正会員が満40歳に達した年度が終了したとき。ただし、監事及び顧問がその任期中に満40歳に達した年度が終了したときは、その任期が満了するまで正会員資格を延長する。
- (2) 本会を解散したとき
- (3) 死亡し、又は解散したとき
- (4) 破産手続開始決定又は後見開始若しくは保佐開始の審判があったとき
- (5) 正会員全員が同意したとき

【改正後】

第15条 前2条のほか、会員は、次の号の一に該当する時は、その資格を失う。

- (1) 正会員が満40歳に達した年度が終了したとき。
- (2) 本会を解散したとき
- (3) 死亡し、又は解散したとき

- (4) 12条1項の入会金又は同条2項の会費を納入せず、督促後6カ月以上納入しなかったとき
- (5) 正会員全員が同意したとき
  - 2 前項の規定により会員が資格を喪失しても、既納の入会金及び会費は、これを返還しないこととする。

### 第3 (例会)

#### 【改正前】

第42条 本会の目的を達成するための事業として、原則として毎月1回以上の例会を開く

2 (略)

3 (略)

#### 【改正後】

第42条 第42条 本会の目的を達成するための事業として、原則として毎月1回以上の例会を開く。ただし、緊急の事情等やむを得ない場合には、理事会の決議により中止することができる。

2 (略)

3 (略)

### 第4 (委員会等の構成)

#### 【改正前】

第44条 (略)

2 正会員は、理事長、直前理事長、副理事長、専務理事、監事及び顧問を除き、全員いずれかの委員会等、事務局及びに財政局に所属するものとする。

#### 【改正前】

第44条 (略)

2 正会員は、理事長、直前理事長、副理事長、専務理事、監事及び顧問を除き、全員いずれかの委員会等、事務局又は財政局に所属するものとする。

### 第5 (附則)

附則に下記の条項を追加する。

- 1 この定款は、令和6年9月26日から施行する。
- 2 この定款の施行時の理事長は美澤貴人、副理事長は永井洋介、石島恵輔、伊藤裕一、議長は小山大輔、専務理事は吉田貴一とする。



## 議案提案書

議案名 2025年度 監事選任（案）

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第4章第11条により選出された者

監 事 井上 健

監 事 篠木 達也

## 議案提案書

議案名 2025年度 理事選任 (案)

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第4章第11条により選出された者

理 事 大西 敦

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第5章第14条により選出された者

理 事 佐藤 晃輔

理 事 佐藤 昌平

(投票数順)

役員及び理事候補者名簿作成に関する規定第6章第24条により選出された者

理 事 伊藤 裕一

理 事 久原 康太

理 事 黒崎 雄太

理 事 西原 里枝

理 事 藤枝 一翔

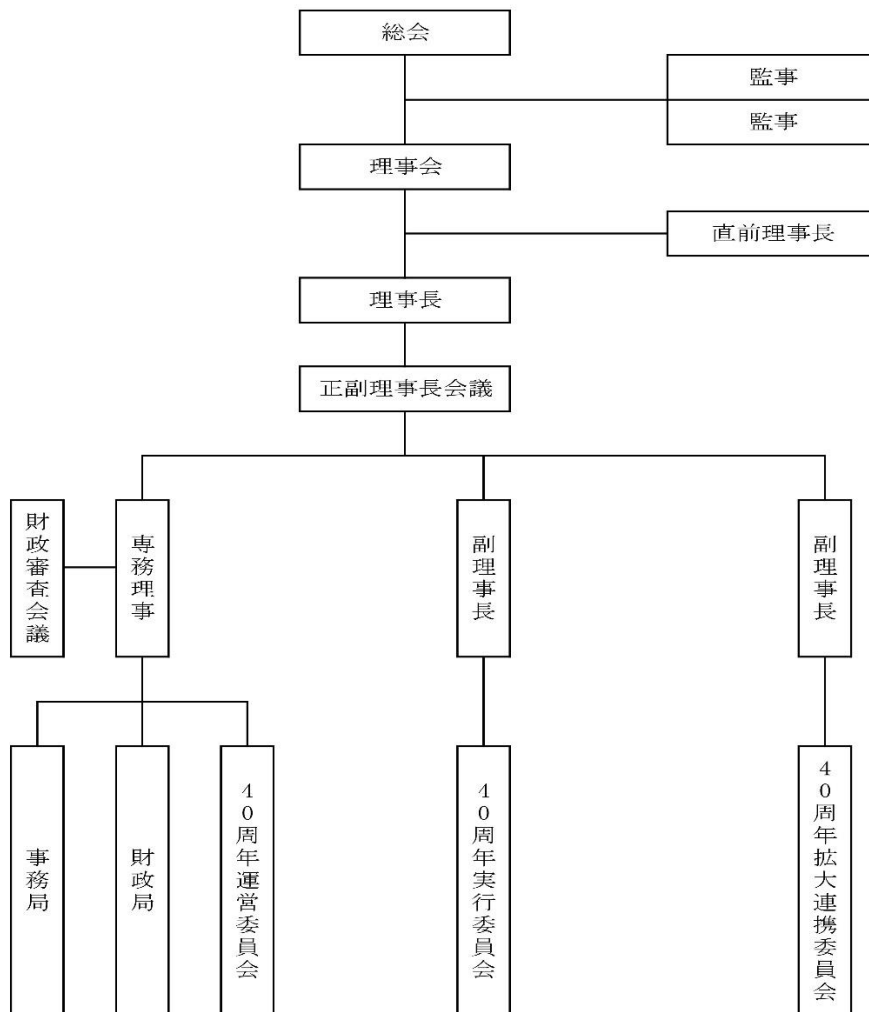
理 事 遠藤 真広

(入会認証順)

## 議案提案書

議案名 2025年度 組織図 (案)

2025年度 一般社団法人 牛久青年会議所 組織図 (案)



議案提案書

議案名 その他

2024年度 一般社団法人 牛久青年会議所 出向者中間報告



公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議  
出向者中間報告

規則審査会議

委員 篠木 達也

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議に委員として出向させていただいております。

規則審査会議の会議体の中で、私が所属しております小委員会では、一般社団法人 下妻青年会議所から出向しております中山副議長や大和田小幹事のもと、茨城県内のLOMメンバーと共に活動しており、主に全体会議及びコンプライアンス審査会議において議案書の確認を行う担いがあるのですが、現地での参加はあまり出来ておらず、主にZOOMで参加させていただいております。

ただ、県外のメンバーと出会える機会や、本会の議案書を確認できる機会は、地区や日本に出向をしないと出来ませんので、事業の規模感、会議での上程方法など、今までにはない新鮮な経験や学びをいただいております。まだまだ学べる機会は残っておりますので、出向の機会を与えていただいた第39代 美澤 貴人 理事長を始めとするメンバーに感謝申し上げ、一緒に出向している大西君と共に、一般社団法人 牛久青年会議所に活かしていけるように努めてまいります。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議  
出向者中間報告

規則審査会議

委員 大西 敦

本年度は、公益社団法人 日本青年会議所 規則審査会議に委員として出向させていただいております。

規則審査会議に出向させていただくのは2回目ですが、コンプライアンスの向上と効率的な会議運営のための工夫が以前よりも進んでいると思います。このような進歩は、LOMにも還元できると思いますので、今後に生かして行ければと思います。

また、一般社団法人 下妻青年会議所から出向しております中山副議長や大和田小幹事がとても精力的にJC運動に取り組まれており、学ぶところが多かったです。小委員会を牛久市で開催していただいたこともあり、茨城ブロックから出向しているメンバーの交流を図ることができました。

結びに、今回出向の機会を与えていただいた第39代 美澤 貴人 理事長を始めとするメンバーの皆様感謝するとともに、一般社団法人 牛久青年会議所の運動展開のきっかけになれるよう尽力してまいりたいと思います。

以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会  
出向報告

ALL茨城連絡委員会

副委員長 黒崎 雄太

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 ALL茨城連絡委員会に出向させていただいております。

ALL茨城連絡委員会では、LOM支援、茨城ブロック協議会の在り方を検討する会議、23LOMヒアリング、石川・能登半島復興支援事業を行い茨城ブロック協議会と県内のLOMとの友好関係や連絡調整をさせていただきより茨城ブロック協議会を活用していただくための活動をしています。

その中でも私の担当は、茨城ブロック協議会の在り方を検討する会議を担当させていただいております。現状の茨城ブロック協議会の在り方を見直し、より時代に合った茨城ブロック協議会となるべく、歴代の茨城ブロック会長、各エリア代表の理事長経験者を交え、1月～6月毎月テーマを設け、茨城ブロック協議会の在り方についての議論の場を設けさせていただきました。私自身歴代の会長や各エリアの理事長経験者の方の考え方や、価値観を聞かせていただき、とても勉強させていただくことが多い時間となりました。今後、茨城ブロック協議会の在り方を検討する会議のまとめを行い本年度議論した内容を次年度に引き継げるように、そして、得た経験をLOMに還元できるように引き続き邁進してまいりたいと思います。以上、出向者中間報告とさせていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会  
出向報告

ALL茨城連絡委員会

委員 佐藤 晃輔

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 ALL茨城連絡委員会に委員として出向させていただいております。

出向させていただいておりますがなかなか参加する時間を作ることができませんでした。委員会が牛久の地で行われた時に参加させていただき、委員会から懇親会まで参加させていただきました。他LOMのメンバーと交流をすることで出向の楽しさを知る事ができました。以上、出向者中間報告とさせていただきます。

## 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向報告

ALL茨城連絡委員会

委員 佐藤 昌平

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 ALL茨城連絡委員会に委員として出向させていただきました。

私自身、茨城ブロック協議会に出向するというのは初めての経験であり茨城県各地から集まった他LOMのメンバーと交流できたことは、JC活動のモチベーションを高める良い刺激となりました。

活動の内容といたしましては、能登半島地震復興支援の一環として義援金を募り返礼品として能登の地サイダーを差し上げるという事業に携わりました。6月に行われました日本JCじゃがいもクラブ 第51回東日本地区大会の場では炎天下の中、シニアクラブの先輩諸兄姉から募金をいただくため委員会メンバーと共に汗を流しながら会場を歩き回ったことは良い思い出です。

また、私が初めての出向で右も左もわからないところを共に出向していた黒崎雄太君には副委員長としてご指導いただきありがとうございました。

## 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 出向報告

財政局

次長 大澤 泰弘

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 財政局に次長として出向させていただいております。

財政局では、全ての事業の予算のチェック、決算のチェック、コンプライアンスのチェックをしております。他の委員会と異なり事業を持つことはありませんが、全ての事業において適切な運用がなされているかをチェックする重要な役割を担っております。

全ての事業をチェックするため、茨城ブロック協議会での事業の作り方が分かり、自分では見えていない角度からの意見を見ることができ、とても勉強になります。この貴重な機会を無駄にしないためにもできる限り会議に出席し、役割を果たせるようにしていきたいと思っております。そしてその中で多くの学びを得て、自己の成長そしてLOMの成長に繋げていければと思っております。

本年度も後半になりましたが、最後まで精一杯取り組んでいくことをお約束し、中間報告とさせていただきます。